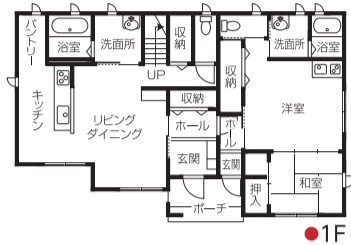
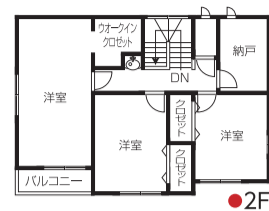




モダンな外観の単世帯住宅。優れた断熱性能と太陽光発電システムによってZEH仕様となっている



建築工法 / 木造軸組工法
 建築面積 / 95.00㎡
 延床面積 / 156.00㎡
 完成日 / 2018年12月



スキップフロア(中2階)の勉強スペースや床下収納などを備える単世帯住宅

寒冷地仕様の内外ダブル断熱で 快適・健康な暮らし

2棟のモデルハウス

北海道並みの優れた断熱性能を持つ2棟のモデルハウスが、みなかみ町政所の月夜野バイパス沿いに完成した。1棟は単世帯住宅、もう1棟は二世帯住宅で、南北に隣接しており、ともに内外ダブル断熱の寒冷地仕様となっている。

建築したのは高気密・高断熱・高耐震の快適な住まいを造り続けているユーカーホーム浦野建設。もともと高断熱の家づくりを得意としている同社は、さらに断熱性能をアップさせ、真冬でも室内を暖かく一定の温度を保てる健康住宅を提供したいと、モデルハウスに技術の粋を尽くした。

住まいのバリアフリー化は快適な暮らしに不可欠だが、なかでも“温度のバリアフリー”はヒートショックの有無など健康を左右する重要なポイント。「ぜひ



親世代と子世代の居住空間を結ぶ廊下。奥が親世代の住まい

モデルハウスで暖かさを体感してほしい」と浦野孝好社長は話している。

単世帯はZEHの家

2棟はいずれも敷地が100坪ほどの広さがあり、4～5台分の駐車スペースや家庭菜園用の畑などを備えるゆったりサイズ。建物とともに2階建てで、延べ床面積は単世帯住宅が約34坪、二世帯住宅が約47坪とほぼ標準的な広さだ。

白とブラウンのツートンカラーが目を引くモダンな外観の単世帯住宅は、子育て世代の親子4人を想定して建てられた。壁の内と外にアクリアとネオマフォームという高性能断熱材を施したダブル断熱で、外気の暑さ・寒さからしっかりガード。窓もすべて樹脂サッシのLow-E複層ガラスを採用しており、断熱性能は北海道並みのハイレベル。しかも、片流れの屋根には9.15kWの太陽光発電システムを搭載しており、消費エネルギーがゼロのZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)となっている。

「月々の売電収入が家計を助けてくれる家です」と浦野社長。間取りも子育て世代向けに工夫を凝ら

し、スキップフロア(中2階)の勉強スペースや3畳の広さを持つ床下収納などを備えている。フローリングは無垢のパイン材でできており、木のぬくもりが心地よく素足でも快適に過ごせる。

居住空間が完全分離

一方、二世帯住宅は2階屋と平屋を組み合わせた造りで、親世代と子世代の居住空間が完全分離型になっている。2つの玄関ドアを備え、主に2階建て部分は子世代、平屋部分は親世代の居住スペースで、それぞれにキッチンや浴室などがあり、プライバシーが守られるように工夫されている。

単世帯住宅と同様、断熱性能に優れており、屋根には4.88kWの太陽光発電システムを搭載。ZEHに近い超省エネ住宅となっている。

浦野建設は「家事ラク」「掃除ラク」「家計ラク」「メンテラク」という“4つのラク”を提唱。家事がしやすい動線や収納を考えた間取り、掃除が楽な設備機器、メンテナンス費用を抑える高耐久材の外壁などを採用し、暮らしやすい家づくりを行っている。しかも、長期優良住宅を標準仕様としており、耐震性や耐久性などに優れ、火災に強い省令準耐火構造も維持している。

モデルハウス2棟にも同社のコンセプトがすべて盛り込まれており、快適・健康で安心・安全な暮らしが約束されている。浦野社長は「来年の1月下旬以降、モデルハウスでの宿泊体験も実施したい」と話している。



2つの玄関ドアを設けた二世帯住宅。居住空間も完全分離型になっている



間取りの工夫で開放的な空間が広がる単世帯住宅のLDK。ダイニングには造作家具のパソコンコーナーもある